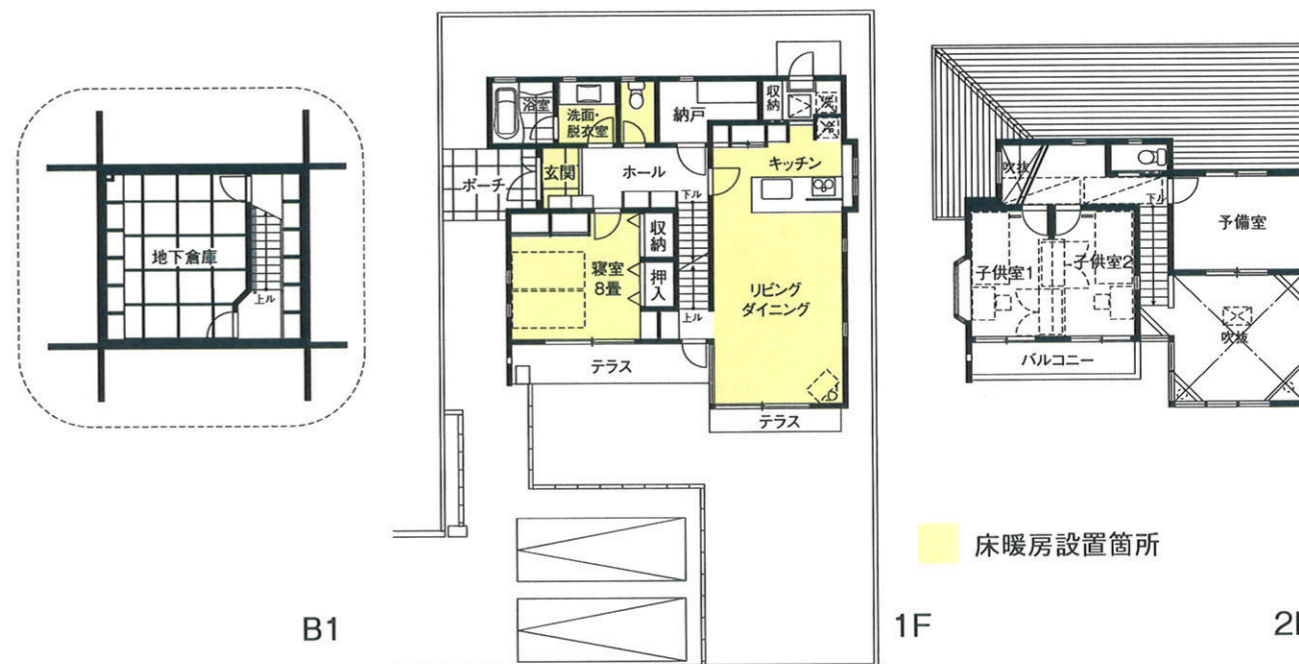


作品番号037-1



オール電化住宅に薪焚きの暖炉を薦める。

施主は大学の後輩で同じ交響楽団に所属する仲間です。

長い念願で両親と2世帯住宅で生活するのを楽しみにしていましたが、道路の関係で敷地の利用に制限が出て2世帯住宅は断念せざるを得ない状況になりました。楽しみにしていた2世帯住宅の替りになる様にと若い施主夫妻が元気が出る様な建築を心がけました。

その時に多機能の暖炉が有る事を知り、厳しい予算を承知の上で暖炉の設置を薦めました。家族の団欒が長い人生で最も大切と考えての私なりの決断でした。